

令和2年度 学校経営

日本国憲法及び教育基本法の精神に則り、宮城県並びに石巻市教育委員会の基本方針に基づき、心身ともに健康な人間の育成を期して次のとおり学校教育目標を設定し、以下の児童像の具現化に努める。

1 学校教育目標

志を抱き 心豊かでしなやかに生きる児童の育成

2 目指す子ども像

- やさしく、思いやりのある子ども（徳）
- 自ら考え、自ら学ぶ子ども（知）
- 心身ともに健康な子ども（体）
- 目標を持ち、根気強く取り組む子ども（志）

3 目指す学校像

- 子どもにとって、輝き、やりがい、居場所のある学校
- 保護者にとって、安心・安全で、一人一人を大切にしている学校
- 地域にとって、連携、協働して子どもたちを共に育み、信頼できる学校
- 教職員にとって、互いを認め合い、支え合い、高め合うことができる学校

4 学校スローガン

【 あ い う え 大街道小学校 】

「あいさつが飛び交い、うたごえが響き、えがおあふれる大街道小学校」

5 目指す教職員像

- 子どもに寄り添い、確かな児童理解に努める教職員
- 使命と責任を自覚し、専門職としての力量を高める教職員
- 互いに尊敬し、協働・協力し高め合う教職員

6 学校経営の実践事項

(1) 豊かな心の育成

①「ひとりぼっちをつくらない」温かな雰囲気の学級づくり

- ・日常的に児童と向き合う時間を確保し、児童の思いや願いを受け止め、安心して過ごせる学級づくりをする。
- ・年間2回の児童を対象とした個別面談日を設定する。

②互いのよさを認め合い、自分の気持ちを伝えられる集団づくり

- ・授業中や、その他様々な学校生活の中で、対話、交流、グループなどの活動を意図的に取り入れていく。
- ・自己有用感を育み、共感的な人間関係を築くための指導を工夫する。

③規範意識や自律的な生活態度の育成

- ・あいさつ運動の実践と具体的な指導を行う。【指導スタンダード】
- ・基本的な学校生活の決まりについての共通理解と確実な指導を行う。【指導スタンダード】
- ・集団行動の基礎的・基本的事項の共通理解と指導を行う。【指導スタンダード】

④道徳教育の充実

- ・全体計画別葉を活用した実践的かつ日常的な道徳教育の推進と、明確な指導観に基づく道徳科の授業を創造する。

⑤積極的な生徒指導の推進

- ・いじめの早期発見・早期対応を第一とし、認知後は観察と指導を継続して行う。
- ・体罰のない、一人一人の児童の心に寄り添った指導を行う。

⑥情操教育の充実

- ・音楽（歌唱）を中心とした教育活動を日常的に展開する。

<本年度の重点>

○あいさつ指導の徹底

(例) 週ごとの学級での振り返り 児童会での取組 朝会で必ず話す

○歌声が響く活動の工夫

(例) 音楽集会の充実 合唱発表会 日常的に歌う 自由参加ミニコンサート

(2) 確かな学力の育成

☆県教委の提言「学力向上に向けた5つの提言」と「石巻市立学校職員スタンダード」の積極的な実践

①県検証委員会報告書「みやぎ授業づくりスタンダード」を活用した授業改善

- ・既習事項を活用した学習を進めるための教材研究と授業研究を充実させる。

②思考力・判断力・表現力を高めるための指導と工夫

- ・基礎的・基本的な学習内容の確実な定着を図る。

- ・言語環境の整備と言語活動の充実による言語に関する能力を育成する。
- ・学年間の関連を考慮した各教科の指導計画の検討と評価規準の明確化を図る。

③課題意識をもち、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善

- ・学習のねらいを意識させるとともに、振り返りの時間を設定して、学びに実感を持たせる。
- ・具体物の提示や操作活動を取り入れるなど、楽しく学ぶ手立てを工夫する。
- ・児童相互の「教え合い・学び合い」の場を設定する。(協同的な学習)

④日々の授業実践と指導改善による指導力の向上

- ・授業規律を身に付けさせ、学びに向かう態度と意欲を高める。【指導スタンダード】
- ・学び方の定着に向けて、繰り返し指導を行う。
- ・ICTの活用による指導の効率化を図る。
- ・校内研究の充実と、指導力を高める現職研修を推進する。

⑤家庭との連携による学習の習慣化の形成と定着

- ・家庭との連携・協力による学習指導、生活指導の充実を図る。
- ・家庭学習の手引きを活用した家庭学習の習慣化を図る。

<本年度の重点>

○校内研究を核とした授業づくりの工夫

(例) 「教え合い・学び合い」の場の設定 読み取る力を高める工夫

(3) 健康の保持増進と体力の向上

①心と体の健康教育の充実

- ・自らの健康に対する関心を高め、改善を目指す能力と態度を育てる指導を行う。
- ・栄養について考え、健康な体づくりに向けた食育指導の充実を図る。

②教科体育・体育的行事や外遊びを通しての体力づくり

- ・体力を知り、高めるための指導の工夫と休み時間の外遊びを奨励する。
- ・自主的に取り組めるように各種検定の実施や学習カードの活用、励まし、賞賛による意欲付けを図る。

③基本的な生活習慣の形成

- ・家庭と連携して、「早寝・早起き・朝ごはん」を奨励する。
- ・養護教諭等との連携による、健康や食に関する指導を展開する。

<本年度の重点>

○意欲的、主体的に体力づくりに取り組ませる工夫

(例) 持久走, 水泳, 縄跳び等の検定制度 外遊びをさせる工夫

(4) 安全・安心な学校生活の確保

- ①「美しい学校」にするための校舎内外の環境整備
 - ・楽しく生き生きと学べる学習環境の整備を図る。
 - ・定期的に点検，整備を行い，安全で健康的な施設設備を維持する。
 - ・家庭・地域の信頼を得る，美しく，明るく，清潔な生活環境を整備する。
- ②危険回避能力を育成する安全指導の徹底
 - ・危険箇所マップ等の作成と活用
 - ・各避難訓練及び不審者対応訓練等の実施と見直し
 - ・事故発生時の迅速・的確・誠実を旨とした対応
- ③父母教師会，地域，警察，行政との連携による学校内外の安全な生活の確保
- ④不登校への早期対応など，児童・保護者との相談体制の確立
 - ・いじめ不登校担当教師を中心とした迅速かつ正確な情報交換の相談体制を確立する。
 - ・スクールカウンセラー，ソーシャルスクールワーカーや外部関係機関との連携を図る。

<本年度の重点>

- 学習環境の整備と創意工夫
- (例) 掲示教育 空き教室，空きスペースの活用

(5) 特別支援教育の充実

- ①保護者及び学校，外部の相談機関との合意形成に基づく指導
- ②特別支援教育委員会を中心とした教育相談機能の充実
- ③特別支援コーディネーターや養護教諭等を中心とした研修と教育相談事業の充実
- ④交流学級との連携及び校内の共通理解と協力体制の整備

<本年度の重点>

- 一人一人の実態に応じた指導の充実
- (例) 交流学級との連携 通級指導の効果的な運用

(6) 保護者及び地域との連携・協働の推進

- ①情報発信と情報の収集に努める。
 - ・学校だよりや学年・学級だよりなどで積極的に情報を提供する。
 - ・メール配信システム(eメッセージ)や学校ホームページにより迅速に情報提供をする。
 - ・懇談会や保護者アンケートなどで情報を収集する。
 - ・日々の連絡や教育相談，「家庭訪問」「個別面談」などを生かし，個々の子どもについて理解を深め，指導の充実を図る。

②地域及び家庭と学校の協働による教育活動の推進

- ・地域や保護者の気付きの声を大事にし、教育活動の改善に役立てる。
- ・地域や保護者との連携による防災教育と防災訓練を推進する。
- ・学校関係者評価の確実な実施と結果に基づき、教育活動の改善を図る。

<本年度の重点>

○家庭及び地域との協働・交流活動の展開

(例) 福祉施設の交流 地域の方々を外部講師に招く学習活動

(7) 教育活動の充実を図る教職員の資質向上

①教職員相互の緻密で迅速な連絡、情報交換

- ・T T指導や取り出し指導など、複数の教員が連携・協力する指導を工夫する。
- ・学級経営の在り方や指導技術の向上を踏まえた学年(部)会及び教科部会等の充実を図る。
- ・学級・教科経営の充実と学校・学年・学年部全体による教育活動の連携を図る。
- ・計画的な授業交換や指導交流、学習資料や学年・学級通信の交流を行う。
- ・指導計画の運用や教材作成など、学年(部)会における連携を強化する。
- ・教職員集団としての職能成長の充実を図る。
- ・校務分掌の円滑な遂行と日々の教育活動の充実を図る。

②服務規律の確保と職務意識の向上

- ・石巻市学校管理運営規則等に基づいた、服務に関する認識を高める。
- ・石巻市立学校コンプライアンス・マニュアルに基づいたチェックシートを活用し、不祥事の未然防止に努める。
- ・学校経営方針を踏まえ、個々の職務上の目標達成と主体的で有意義な職務を遂行する。
- ・人事評価シートを活用し、教職員一人一人の職能成長と教育活動の質の向上を図る。

<本年度の重点>

○現職研修の充実

(例) 校内現職研修の実施 各種研修会への積極的な参加